

ホテル・旅館の耐震化についての考えは

答 国、県に補助率引き上げと支援を要望する



山田直志 議員

観光産業の未来は

問 ホテル・旅館の耐震化についての考えは。

町長 補助制度では所有者の負担が大きいため、国、県に補助率引き上げと総合支援を要望している。

問 人手不足での支援の結果と課題は。
町長 平成22年度から29年度まで町内町外で説明会を開き45名が就職した。

問 イベントの後援は拡大しているが、観光客が減少している課題は。
町長 減少は、地域間競争が激しいことが要因。後援したイベントなどお客様には喜んで頂いている。

また、町内各種団体の担い手が減少傾向で維持していくことに苦労している。

急病で搬送、身元の確認は

問 救急カプセルの取り扱いと活用は。

町長 ステッカーが貼つてある場合、カプセル内の情報を基に対応している。

問 救急カプセルがない場合の対応は。
町長 症状、病歴など聴取し、応じた応急処置及び病院選定をしている。

問 ドクターヘリへの身内以外の搭乗は。
町長 搭乗者は、介助者1名となっているが、医師の判断で対応している。



大川を元気にする活用を！

問 大川小の跡地利用は。
町長 区の要望を第一に対応していきたい。

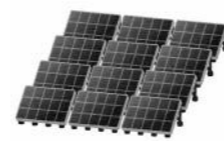
問 ①企業誘致や若者住宅など人口が増える活用方法は。
②安心や快適な生活を求めて介護事業施設などの拠点施設としての活用は。
町長 あくまで区の意向を尊重したいが、ない時

には、町から提案をしていく。

メガソーラー発電への対応について

問 メガソーラー発電は、川や海を荒らし、景観など環境を一変させ観光地として大問題。
また、投資目的の事業が拡大している中で、耕作放棄地への建設を民間業者が募集しているが町の対応は。

町長 今後は、個別基準を設けて、土地利用委員会の承認を義務付ける方向で対応する。周辺住民や地区自治会の理解が得られなければ承認しない立場で対応していきたい。



公共交通（駅）のユニバーサル化を

答 駅の重要性を理解いただきながら粘り強く交渉したい



西塚孝男 議員

公共交通（駅）のユニバーサル化について

問 高齢化により事故等が多く危ないために、免許返納を推進している中で、移動手段として鉄道を利用しなければならぬのに伊豆急稲取駅の今の現状はひどすぎると思わないか。地元の人達がこのように思っているのだから、伊豆に夢を膨らませて来てくれる観光客が青い海や緑豊かな景

色を見ながら稲取駅に着いて電車を降りたら、階段と薄暗い通路、狭い改札口を見たときの印象は

落胆するのではないかと。私は平成28年3月に、同じような質問をしたが、その後の状況はどうか。
町長 伊豆急稲取駅は町内で最も乗降客が多い特急の停車駅で、観光客の玄関口であり、通勤通学にも非常に重要な役割を

果たしている。その中で、ユニバーサルデザインの観点からもエレベーターの設置、通路、改札口のバリアフリー化は、高齢者や障害者の方が気軽に旅行を楽しんでいただくためには必要不可欠だと考えており、町としても自分の負担を伊豆急側へ提示しているが合意は得られていない。

水道事業化について

問 水源調査後の稲取地区の利用計画は。
町長 平成27・28年度と稲取地区2箇所水源調査ボーリング工事を行い水源が発見された。水源を利用するためには、厚生労働大臣の水道事業変更認可が必要となるため、平成30年度に3号井戸を含めた湧水試験、設計な

る。

